



## 令和7年上半期分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

輸出総額は1兆8,397億円（対前年同期比1.5%の減少、比率ベース：2期連続の減少）、輸入総額は5,272億円（同29.1%の増加、同3期ぶりの増加）であった。差引額1兆3,125億円（同10.1%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「プラスチック」などが増加したものの、「船舶類」、「自動車」などが減少した。輸入は「鉄鋼」などが減少したものの、「自動車」、「果実」などが増加した。

地域別では、輸出は「北米」、「中南米」が減少、「西欧」は増加した。輸入は「西欧」、「アジア」が増加、「中東欧・ロシア等」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸出超過）	伸率
三河港	18,397億円	▲1.5%	5,272億円	+29.1%	13,125億円	▲10.1%
	2期連続の減少		3期ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) プラスチック	36億円	+41.6%	輸入	増加品目	(1) 自動車	4,648億円	+34.4%
		(2) 金属鉱及びくず	69億円	+14.2%			(2) 果実	13億円	+243.7%
		(3) その他の化学製品	164億円	+2.4%			(3) 魚介類及び同調製品	18億円	+54.1%
	減少品目	(1) 船舶類	97億円	▲55.9%		減少品目	(1) 鉄鋼	219億円	▲19.2%
		(2) 自動車	1兆7,723億円	▲0.6%			(2) 航空機類	33億円	▲29.1%
		(3) 鉄鋼	150億円	▲29.8%			(3) 建設用・鉱山用機械	5億円	▲64.8%
	地域別動向	北米、中南米が減少、西欧は増加				地域別動向	西欧、アジアが増加、中東欧・ロシア等は減少		

（参考）ドルレートは、149.47円（前年同期比0.9%、1.42円の円高）であった。

（注）令和7年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。